時事新報

●横濱ジャッパンメール

我輩が過般加奈陀太平洋線路の通したるに付き英國の勢力は東洋に一層の盛大を致す可し云々を記したる其文中に（前略）東洋諸國と西洋との交通の斯く次第に便利と爲りたるは悦ぶ可きの至りなれども又一方より考ふれば我門外に敵の一歩を近づけたるの思ひあるにも非ず我輩の甚だ掛念する所なり」と記したると横濱のジャッパンメール新聞紙は之を英文に譯し

Yet considered from another standpoint, it can scarcely fail to suggest the reflection that an enemy has come a step nearer to our gates. It is to us a subject of great uneasiness.

と記して扱ひたる時事新報は英國に敵意を抱きて之を敵視するものなりとて苦々しき筆鋒を差向けられたるに付き新報は早速これを辨じて左樣なる次第にあらざる旨を紙上に記したりしが（去月廿七日の時事新報）昨日復たメール新聞より再應の説を記し時事新報の原文は左の如しメール新聞の英譯は斯の如しと原譯兩樣の文を示して翻譯に誤りはなし外に正誤の仕樣もなければも新報は意味が云々ならば夫れにて宜しと云ふ其語氣を見ればメール記者の胸中尚は未だ釋然たらざるもの〻如くなれば此上は我輩は廣く天下の公評に附せんと思ひ諸と和英二樣の文を掲げざるを得ざるの場合に及びたり蓋しメール記者は敵の字に重き意味を附し敵は兵馬戰爭の敵なりと認めて斯る間違ひに陷りたることならん元來この字の意味は甚だ廣くして怨敵讐敵など用れば惡む可き文字なれども敵手匹敵など云ふときは相手の意味にして平生の文に用るもの甚だ少なからず碁將棊の好敵手と云ひ競馬の敵と云ひ商賣敵と云ひ技藝の匹敵と云ふが如きは毫も惡意あるにあらず唯單に相手方を云ふに過ぎず今一歩を進めても油斷のならぬ相手方と解するより外に意味ある可らず左れば新報が西洋東洋の商賣と記して其の本國より東洋に達するの路を短くしたるは商賣上に兵略上に競爭相手方を近づけたりと中々以て浮々と油斷す可らざるの事共なりと何樣に見るも實は我自國人を戒めたるまでのみとにして此文章と日本國は之が爲めに特に防禦を嚴にす可しなど云ふ敵の字の意味に解するものは無かる可し我輩は決して字義に拘泥して争はんとする者にあらず唯願くばメール記者が今一應原文の眞意を見て其心中釋然たることもあらば幸甚のみ

又メール新聞紙が英文新聞紙にてありながら日本の事を云々し時事新報の記したる本論に餘計のことありとの次第て明白に了解せり本論に縁ある所は固より知る所なれども其譯にも記したる如く日本内國の事に付てメール記者より新報へ忠告したる大紙の所までは外國の誤に及び甚だしく新報が之に答辯するは尤も其次第と記したる序事の文なるに過ぎず左まで論ずるにも當らざる可し左なきだに文章を申すは論ある者にて生ずるものにして例へば先日メール新聞紙が商件英敵論中にも時事新報は亞米利加心酔云々とて論題に掲げたるが如きも其一例なり斯る論中に縁なき語を記されたるが如きも其一例なり我輩は深く心に關することもなきのみ

電報

○福井縣會の建議　福井十二月三日午前特發　第四高等中學校の事に付き本縣々會は内務大臣に向つて建議書を差出すことに決せり

○山陽鐵道會社、幼稚園　神戸十二月三日午後特發　山陽鐵道會社へ雇ひ入れし英國工學士ベルチャー氏は去月二十八日英國郵船ゲーリック號にて横濱に着し昨一日山城丸に乘込て同地より當地に來り今二日本社へ出勤せり近日の内同社の技師大嶋仙藏氏と同道にて同會社の線路巡視に出張する筈あり

私立神戸幼稚園は一昨一日開園式を擧行し本日より始業せしが生徒は六十一名あり

○五軍艦　長崎十二月三日午後六時四十分特發（不全延着）　高千穂、扶桑、海門、筑紫、葛城の五軍艦は只今當港に入る

○有志伊藤伯の爲めに夜會を開く　前同斷　當長崎區の有志者は伊藤總理大臣の爲めに今夜夜會を開らく

○鐵道の檢査、生絲の好況　福嶋十二月三日午後特發　鐵道局運轉長は鐵道線路檢査の爲め昨日仙臺へ赴き昨夜當地に來り一泊し今朝郡山に向つて出立せり

此三四日以來生絲の氣配中々に善く十圓方上騰の模樣なり

○英國郵船、生絲の取引　横濱十二月三日午後特發　英國郵船アスメラルド號は只今（六時五分）到着せり

今日生絲の手合濟となるもの四百梱直段は昨日と同斷なり

宮廷錄事

○御親祭　明後六日午前十時宮中に於て後桃園院天皇の御親祭を執行させられ皇太后皇后兩宮にも御玉串を捧げ給ふ御都合なりと云ふ

○小松宮　二品彰仁親王には昨三日午前神戸に着せられ本日午前七時同所出發同五日午前六時頃横濱へ着せられ直に別仕立の汽車にて御歸京の御都合ありといふ

○御息所御歸京　故三品能久親王の御息所には御病の爲め豆州熱海へ赴かれ居りし處去る一日歸京されたり

雜報

○海軍大臣　は去る三十日横須賀造船學校、鎭守府、兵器部等を巡視したる旨此程の紙上に掲載せしが去る一日は所勞のよしにて休息し翌二日同鎭守府を巡視せりとぞ

○青木外務次官　は昨三日午後七時より各大臣及各國公使を官邸に招請して饗宴を開きたり

○岩村北海道廳長官　は明五日午後六時より今度在官の儘自費を以て洋行する吉田横田の兩同廳技師の送別を兼重顯の人々と芝公園の紅葉館に招待して饗宴を開くといふ

○[illegible]氏　同大審院判事第二局長は昨三日[illegible]調査委員を命せられたり

○敍任　十二月三日

任京都始審裁判所長（奏任官一等）　[illegible]始審裁判所長　富永多喜
任仙臺始審裁判所長（同三等）　[illegible]始審裁判所長　久保秀興
任福島始審裁判所長（同四等）　控訴院評定官　曾禰俊藏
任松山始審裁判所長（同）　控訴院評定官　[illegible]
任名古屋始審裁判所長（同）　控訴院評定官　田中[illegible]
任福岡始審裁判所長（同）始審裁判所判事　原田[illegible]
任松江始審裁判所長（同）　始審裁判所長　新井[illegible]
任控訴院評定官（同）　始審裁判所判事　石田篤濟呂
任始審裁判所判事（同）　同　赤堀義民
任福井縣丹生郡長（同六等下級俸）　檢事　山川徳治
任領事（同五等）　交際官試補　内田[illegible]　伊東祐德

○野村靖氏　同文部視學官は長野、靜岡兩縣地方へ巡視を畢りて一昨二日歸京せり

○竹田春風氏　同關西鐵道會社長は豫て上京中の處一昨二日四日市の本社へ歸りたるよし

○イングリス氏　海軍省雇イングリス氏は神戸小野濱造船所、吳鎭守府建築所、幷に江田島兵學校移轉地へ巡視を命ぜられたり

○課長心得　東京府土木課長穗積徹重氏が今度赤坂區長に轉任せしに付倉田同府五等技師が右課長の心得を命ぜらるゝと

○毛利公の宴會　毛利元德公は今度令息某氏が近々留學の爲め歐洲へ渡航するに付昨三日正午時山縣山田の兩大臣其他山口出身の舊藩士二百餘名を高輪の邸へ招請して留別の宴を開きたり

○官舍移住　土方宮内大臣は今度宮内省にて大臣官邸の爲め借入れたる一番町の閑院宮邸へ一昨二日移住したり

○歸朝の祝宴　前號の紙上に記せし如く今度澤田俊三氏が歸朝せしに付き府下代言人中の有志諸氏は來る十日午後二時より同氏を枕橋の八百松樓に招待して祝宴を開くはずにて當日の幹事は松尾清次郎氏外五名なりといふ

○米國前外務大臣ウヲスボルン氏の傳　米國の前外務大臣ウヲスボルン氏は去る十月二十二日シカゴに於て歿去たり（昨日の紙上を看よ）氏は一箇月前より腦充血を患ひ令息ヘンプスケット ウヲスボルン氏のレキシナー なる邸に在りしが之れより先ち六箇月前氏の夫人の死去したるが爲め氏は哀悼の餘り其健康を害したりといふ氏には五人の子あり長は則ちヘンプスケット ウヲスボルン氏にして現にシカゴ府の代言師たり氏は兄弟は七人ありて第三の弟あるが死弟は何れも米國の國會議員にして後に官に任へて要職に適えたるものも少なからずウヲスボルン氏は千八百十六年にメーン州に生れ少時より讀書に專にし千八百三十九年イリノイ州ガレナの學校に入り後同年始めて政治社會に出で同年國會議員に選擧され其後再選三選に當り遂に議員の長老となり（The Father of the House）彼のグラント將軍の如きは氏の選擧者の一人たりしを以て氏の推薦に預りたること少なからずグラント將軍が陸軍に出身して其昇進の速かなりしも氏の力其の多きに居り將軍を米國の一士官より米國陸軍の大將となせしも實に氏の力なりと云ふ其後グラント將軍の選ばれて大統領の職に就くや氏を外務大臣の要職に任せしも幾ばくもなく病氣の故を以て之を辭し更に佛國駐在の全權公使に任せられ巴里に赴任せしが普佛戰爭起りて其兩國の最中に外國公使にして巴里府の圍中に留まりしは氏一人のみなりとぞ氏は其間に罹るものを救助するを以て[illegible]の職責にて[illegible]を以てせんとまたるに[illegible]二大油畫の其一は皇帝自身の像を畫き其一は宰相ビスマーク爲と寫したるものを氏に寄せ以て感謝の意を表またる氏が其際救助したる獨逸人は八千人に出でたり

其他佛人又は其他……
したるもれ甚だ……
府よりも謝詞と……
歸り故郷ある……
に屬ば大統領の……
統領選擧會に氏は……

○校長會議　昨三……
が出席の上各中學……

○電信局設置　福……
地に電信局設置の……

○獸類規則　東京……
類規則を發布する……

○露國軍艦　ド……
へ向け横濱を解纜……

○東京試驗　高等……
吾妻橋へ出張して……
原口一等技師は同……

○轉任の祝宴　京……
坂區長に轉任した……
模樣に招待して饗……

○貴顯負傷　水……
省に於て修繕其他……
に大日本農會、水產……
所の建物破損其他……
旨此程農商務大臣……

○府會議員選擧會……
海濱左衛門の兩氏……
選擧會と同區の議……

○新聞記者の處刑……
編輯人豐田明貫の……
報欄内に愛知縣……
る事項と掲載し……
昨三日各々重禁錮……
宣告されたり

○宮田甚太郎氏
旋て儘はしたる全……
松澤竹次は兩氏は……
に引致せらる際官……
相分らず又其住所……
番地を取調べたる……
屋等は更に之なき……
人は書を本社に寄……
始め其他二三新聞の……
は今正に書覗廳第……
り面會せしに只今……
日は未だ相分らさる……
知きも新小川町二丁……
わり云々と申來り……

○十州鹽田組合紛……
ける組合議會の事……
代表しゐる議員を……
日の事なりしが大……
田組合の集會を開……
し（本號の欄に……
き支部と定むる事……
月廿六日附にて農商……
日同省にて多少の……
は讃州を代表せる十……

○小松宮　神戸十二月三日午後特發　小松宮は本日佛國郵船アバコウ號にて今朝十時に着關防山西常盤樓へ入らせられ布引の瀧と一覽し正午内海知事の饗應とウテカワ常盤樓よて……
鶯光山階佛光寺の兩宮來神せらる

○諮問會開會　廣嶋十二月三日午後特發　昨日より勸業諮問會を開く

○岡山電報　岡山十二月三日午後特發　本縣の中學校へ醫學部設置は昨日……

○京都電報　十二月三日午後特發　縣て有志者より其筋へ差出し置きし建白書は本日却下せらる